

近畿地方整備局
資料配布

配布日時	平成22年 1月 8日 14時00分
------	-----------------------

件名	「新たな公」(地域づくりの担い手)大集合!! 活動報告会の開催のお知らせ ～近畿の「新たな公」が地域づくりの取組状況を発表～
----	--

概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業』に参加する近畿ブロックの活動団体が集い、相互に活動内容を発表しあって、課題解決に向けた意見交換を行います。</li> <li>● 19団体が、平成20年度、21年度の活動について発表します。</li> <li>● 当活動報告会は、公開で開催します。</li> </ul> <p>日時：平成22年1月19日(火) 14:30～17:45</p> <p>場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館2F大会議室</p>
----	---

取り扱い	—
------	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
	神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ 所属で資料が必要な方は、近畿地方整備局記者クラブ調(06-6942-1141内線2811)にお問い合わせ願います。

問い合わせ先	近畿地方整備局 建政部 計画管理課長 本村 龍平(6121) 課長補佐 釜矢 和一(6123) 電話 06-6942-1141(代) 06-6942-1056(直通)
--------	---

## 『新たな公』（地域づくりの担い手）大集合：活動報告会 （近畿ブロック）の開催のお知らせ

国土交通省では、官民の主体が協働し、伝統・文化等の埋もれゆく地域資源を活用してコミュニティを再生しようとする活動を支援するため、地域づくりに取り組む住民、NPO、商工会、自治会等の多様な主体に対して「新たな公」の担い手の拡大を通じた地域づくりの新しい道筋をつけ、全国に展開することをねらいとする『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業」を実施しています。

このたび、モデル事業に参加する活動団体が一同に会して、日頃の活動内容を報告し合い、課題を探る「活動報告会」を全国各ブロックごとに開催することになりました。近畿ブロックについては下記のとおり開催します。

### 記

日 時： 平成22年1月19日（火）14：30～17：45 （開場13：45）

場 所： 大阪府中央区大手前1-5-44

大阪合同庁舎1号館 第1別館 2階大会議室

参加団体及びプログラム： 別紙のとおり

その他： 聴講をご希望の方は、1月14日（木）までに、代表者氏名、同行者人数を添付チラシにて、メールまたはFAXでお申し込みください。

〈申し込み先〉ジオスケープ 平山

FAX：03-3588-5991

E-mail：geo@geoscape.co.jp

※「新たな公」とは、国土形成計画（平成20年7月閣議決定）において、今後の地域経営の機軸となるべきものと位置づけられており、行政が提供していたサービスを行政に代わって提供していく、というだけでなく、従来行政が行ってこなかったような公共的な仕事を行っていくもの、さらには、もともと民間の仕事であったものに公共的な意味を与えて提供するものなど、多様な活動に係る「担い手」となるものです。

「新たな公」の内容及びモデル事業の概要については、次のアドレスをご参照ください。

<http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/aratana-kou>

# 『新たな公』(地域づくりの担い手)大集合:活動報告会 近畿ブロック

日時:平成22年1月19日14:30~17:45  
 場所:大阪府中央区大手前1-5-44  
 大阪合同庁舎1号館 第1別館

## 【全体プログラム】

時間割	区分	備考
14:30~14:40	開会あいさつ他	2階大会議室
	(会場移動)	
14:50~15:05	各団体活動報告①	各会場
15:05~15:20	各団体活動報告②	各会場
15:20~15:35	各団体活動報告③	各会場
15:35~15:50	各団体活動報告④	各会場
	(休憩)	
16:00~16:15	各団体活動報告⑤	各会場
16:15~16:30	各団体活動報告⑥	各会場
(16:30~16:45)	(各団体活動報告⑦)	各会場
16:30~17:00	各会場全体質疑	各会場
	(会場移動)	
17:05~17:40	全体講評・意見交換	2階大会議室
17:40~17:45	閉会あいさつ	2階大会議室

## 【各会場プログラム】

### 会場① (3階第4会議室)

時間割	団体名	事業名
14:50~15:05	湖北移住交流支援研究会	滋賀県湖北地域移住・交流サポートシステム構築事業
15:05~15:20	小原ECOプロジェクト	伝統的古民家再生と地域資源の活用を通じた新たなコミュニティの創出
15:20~15:35	国栖の里観光協会	ものづくりの里レボリューション事業
15:35~15:50	Kokoima Project	学校を中心に据えた地域活性化(子どもの元気から広がるまちづくり)
(15:50~16:00)	休憩	
16:00~16:15	江川地域づくり協議会	ことおこし・人おこし・物おこしによる江川の里づくり事業
16:15~16:30	奥銀谷地域自治協議会	地域住民、元住民、都市住民等の協働による「奥銀谷お宝マップ」づくりと活性化プログラムの作成
16:30~16:45	色川百姓養成塾	むらを学ぶ「むらの教科書づくり」事業 「わがらで地域づくり」プログラム
16:45~17:00	各会場全体質疑	

【各会場プログラム】

会場② (2階第2会議室)

時間割	団体名	事業名
14:50~15:05	竹万あゆみ協議会 特定非営利活動法人地域再生研究センター	「美しく安全な国土の管理・継承」に向けた、地域事業者、地域住民、行政、NPO等との連携・協働による『食と農、農地の再生』事業及び賑わいと魅力と持続性ある『ふるさとの風景づくり活動』推進事業
15:05~15:20	富田林寺南地区まちづくり協議会	富田林寺内町かいわいの「地域資源と人材」を活かした空家活用プロジェクト
15:20~15:35	栗東市街道ものがたり百年協議会	琵琶湖を望む「観音寺の里」水仙街道プロジェクトを通じた魅力・活力の創生
15:35~15:50	財団法人 兵庫丹波の森協会 NPO法人 たんばぐみ (株)プロビスささやま 丸山自治会	ふるさと原風景再生マネージメント事業
(15:50~16:00)	休憩	
16:00~16:15	特定非営利活動法人 三国湊魅力づくりPJ	三国湊緑のリレープロジェクト
16:15~16:30	西山森林整備推進協議会	多様な主体との連携による京都西山フォレスト事業
16:30~17:00	各会場全体質疑	

会場③ (2階第3会議室)

時間割	団体名	事業名
14:50~15:05	特定非営利活動法人 いくのライブミュージアム	「鉱石の道」産業遺産エコ・パーク地域マネジメントプロジェクト
15:05~15:20	みやづ新浜まちづくり組合	丹後七姫小路による旧花街の活性化
15:20~15:35	紀伊万葉ネットワーク	「文化伝統等地域資源を活用した持続可能な地域の形成」 -万葉の文化と風土に親しみ、ふるさとおこしに活かす紀伊万葉顕彰事業-
15:35~15:50	西播磨生き生き街道活性化協議会	西播磨の自然を活かした集落活性化モデル事業
(15:50~16:00)	休憩	
16:00~16:15	特定非営利活動法人 メディアネット宇陀	メディアを通じた中山間地域の出会い・交流創出プロジェクト
16:15~16:30	高井田まちづくり協議会	モノづくりのまちシティプライド醸成事業
16:30~17:00	各会場全体質疑	

## 活動報告会 発表団体概要

団体名	事業名	主な活動地域	H20活動概要	H21活動概要
小原ECOプロジェクト	伝統的古民家再生と地域資源の活用を通じた新たなコミュニティの創出	福井県勝山市	勝山市北東部の山間域に位置する小原集落は、平成18年豪雪による家屋倒壊により伝統的な集落民家が半減し、集落機能や地域コミュニティも崩壊し廃村寸前となっている。放置すれば、中世から続く歴史と豪雪地帯という特性に培われた生活文化や自然資源が失われることになるため、白山麓民家特有の形式を持つ古民家を地域再生の核と位置付け、その修復を通じた協働体制を確立し、地域資源を活用した地域活性化と地域の新たな担い手の育成による、集落存続と伝統的地域資源、自然資源を未来への財産として残すことを目指す。	集落から住民が消滅した場合の新しい地域形態による集落・地域存続のための仕組みについて検討するため、地域再生の核と位置づける伝統的古民家の修復を通じた協働体制の確立や地域資源の修復・有効活用を図ると共に、昨年度構築した新たなコミュニティ組織による持続可能な地域運営と文化の継承・保存活動を目指す。
特定非営利活動法人 三国湊魅力づくりPJ	三国湊緑のリレープロジェクト	福井県坂井市	三国湊の自然景観・地元住民の愛着の象徴ともいえる松林の松枯れが進行し、枯れ松処理等の費用や危険性が増し、土地所有者の高齢化、兼業農家の増加などにより、里山の荒廃も進み、ゴミの不法投棄にもつながるといふ悪循環を生み出している。このため、市有地・私有地を活動フィールドとして借り上げての里山健康診断・ランドデザインづくり・整備の実践を行ってきたが、今後、里山整備を一層進め、新たな景観を創造しながら、地元住民やボランティアによる新たな公としての意識の継承・発展に取り組み、地元とボランティアとの交流による、総合的な地域の活性化とまちづくりのボトムアップを模索・調査・実践・普及していく事を図る。	枯松伐採を含んだ里山づくり×里海づくり×文化づくりを住民・中長期ボランティア・専門家・企業が協働で実践する。昨年度の受入れ体制の整備等を活用し、今年度は、活動プログラムにより、参加者や受入れ側の人材育成を通じて三国湊全体のまちづくりへ(若者・退職者の雇用創出含む)と発展させると共に、つながりの強い九頭竜川流域にその環を広げる。
湖北移住交流支援研究会	滋賀県湖北地域移住・交流サポートシステム構築事業	滋賀県余呉町、米原市、湖北町、木之本町、西浅井町	滋賀県湖北地域の2市6町では、中山間地域の集落をはじめ中心市街地においても過疎や高齢化が進行し集落機能の低下が課題となっている。「地方に移り住みたい」、「地方で暮らしながら都市で仕事を続けたい」ことを望む都市住民のニーズと、「移住者を受け入れ、地域を活性化させたい」ことを望む地域住民のニーズをうまくつなぎ合わせることで、地方にとって新たな地域活力を創り出す可能性が存在しているため、都市のニーズと地方のニーズをつないで、二地域居住や移住を促し「地域力」を高めることを目的として、①はばひろい情報発信、②しっかりとした受け止め、③ていねいな支援を担うことのできる「新たな公」となる移住交流サポート組織の立ち上げをめざす。	地方に移住希望の都市住民のニーズと移住者受入れ希望の地域のニーズをつなぎ、集落機能の低下が課題となっている地域を再生することをめざす。昨年度の活動により地域のコンセンサスが形成できたことから、今年度は、市町村を越えて広域的に相談や定住支援を行う、民間の力を活用したサポート組織の立ち上げに向けた試行を実施する。
栗東市街道ものがたり百年協議会	琵琶湖を望む「観音寺の里」水仙街道プロジェクトを通じた魅力・活力の創生	滋賀県栗東市	-----	人口79人の集落の持つすばらしい景観を守るため、市内のまちづくりなどに取り組む有志の団体が集落住民全員の合意と参加を得ながら地域資源である間伐材等の活用や空き家を活用した交流事業など新たな交流の仕掛けづくりを行い、景観保全のための諸活動に取り組む。
Kokoima Project	学校を中心に据えた地域活性化(子どもの元気から広がるまちづくり)	京都市左京区	京都市左京区北部地域は市の北に位置する中山間地であるが、近年、林業の低迷や交通の利便性などから、過疎化高齢化が進行した結果、地域の財産である農林地の管理が困難となりつつあり、また地域組織の役員の担い手や集落の協同活動への参加者が減少するなど集落維持機能が低下してきている。6つの小中学校を統合した花背小中学校の開校を契機として、学校の存続と発展に対して、地域存亡への危機感と地域活性化への期待感が、地域住民で共有されており、花背小中学校の児童生徒数を減少から増加に転じるための定住人口の拡大、地域内産業・雇用の創出、都市住民(地域外の児童生徒を含む)との交流促進などを図り、地域の活性化、集落維持機能の再編促進をすすめることを目指す。	昨年度に地域内外からの意見を集約し、作成した「10年たっても20年たっても山の中の暮らしがある存在」をテーマに、今年度は、①地域運営主体の強化②都市住民等との水源の森交流事業の活性化③都市部の子供と交流プロジェクト(長期宿泊受入)等の活動により、学校を核とした集落の再編・定住促進を図り、地域の自立を目指す。

みやづ新浜まちづくり組合	丹後七姫小路による旧花街の活性化	京都府宮津市	京都北部の丹後は、天橋立などの景観と松葉かに料理により、年間580万人の観光客を集める。宮津は丹後半島観光の拠点であるが、年々人口を減らし、活力を失いつつある。宮津の観光産業の課題は、天橋立観光だけで移動する等、滞留時間が短いことであるため、新たな観光メニューの提供が必要である。この課題に対応するため、宮津で繁栄した花街「新浜」文化の観光資源化を試み、花街経営で培われてきた「おもてなしの心」で新しいニーズの受け皿として位置づけ、新浜文化と丹後広域文化を体感できる場として新浜の再	天橋立のあるこの地域は古くは集客力の高い観光地であったが、現在は人口減少等により踊りやおもてなしといった無形の地域資源の担い手が減少し、観光を軸とした地域コミュニティも崩壊しつつある。地域の伝統的な文化の継承を図るため、空家を活用した伝統工芸の体験事業試行、人材育成等を通して地域コミュニティの再建を目指す。
西山森林整備推進協議会	多様な主体との連携による京都西山フォレスト事業	京都府長岡京市	-----	荒廃する市の水源林の持続可能な管理のしくみをつくるため、近隣の子供たちを中心とした地域住民の参加を得ることをきっかけに森林所有者の意識改革をはかり、より水環境の保全に資する森林保全の方策を探る。
富田林駅南地区まちづくり協議会	富田林寺内町かいわいの「地域資源と人材」を活かした空家活用プロジェクト	大阪府富田林市	寺内町は「重要伝統的建造物群保存地区」、「美しい日本の歴史的風土100選」に選定されており、歴史的な建物が184軒あるが、そのうち空家は、約40軒存在する。当地区の人口は減少傾向にあり、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯も多く、空家や老朽化した民家が放置されたままのエリアもある。これらに対して、空家活用プロジェクトにより、地域資源と、人的資源を掘り起こし、駅南地区全体のまちづくり、活性化を目指す。また、この取り組みにより、協議会を中心としたコミュニティの強化を図る。更に、来訪者やサポーターなど地域外部とのネットワークづくりにより、地域コミュニティのさらなる発展を目指す。	昨年度の活動で作成した空家活用の仕組み(概念モデル)を検証するため、今年度は、新設の空家等活用推進組織によるモデル物件での活用の実証実験を実施し、地区内の持続的な空家の利活用の促進を誘導する。この取り組みを通じ、協議会と住民、商業者等の連携を強化し、地域の総力をあげて活力ある地域コミュニティの創生を目指す。
高井田まちづくり協議会	モノづくりのまちシティプライド醸成事業	大阪府東大阪市	東大阪市高井田周辺の西部工業集積地区は、多様な製造業業種が集積し日本を代表する工業地域であるが、その担い手・牽引役である町工場や商店の事業不振、高齢化、後継者難などによりコミュニティは崩壊の危機にあり、住と工の間でのトラブルが発生したり、地域への誇りや愛着が希薄になっている。都心近接産業集積とそこで生業を営む職人や企業をかけたがえのない地域資源ととらえ、モノづくりを通して培われた価値観や地域文化を次世代に継承するため、触媒となる仕組みを構築し、地域の様々な主体の支援のもと、モノづくりに携わる職人とそれに興味を持つ若者をつなぐことにより、モノづくりのまちとしてのシビックプライドの醸成、人材・技術の継承を実現させる。	昨年度の試行を踏まえ、学生がモノづくりの達人を訪問する『モノづくり体験塾』を改良(学校連携プログラム開発、受入れ体制の整備等)して実施し、産業集積の企業・達人がモノづくりを通して培ってきた価値観や地域文化を地域ぐるみで次世代に継承するとともに、参加者である若者と地域の技術者とのネットワークを構築し、地域コミュニティの再構築を図る。
竹万あゆみ協議会 特定非営利活動法人 地域再生研究センター	「美しく安全な国土の管理・継承」に向けた、地域事業者、地域住民、行政、NPO等との連携・協働による『食と農、農地の再生』事業及び賑わいと魅力と持続性ある『ふるさとの風景づくり活動』推進事業	兵庫県上郡町	土地区画整理事業により新たに都市基盤の整った本地区には、地域内外から様々な事業者、事業者の出店により、沿道型の商業集積が進みつつある。その一方で、地域には多くの多くの農用地が見られ、古くからの農村風景も残しているが、都市基盤の整備に伴い、耕作放棄地の増加や農地の減少も進み、ふるさとの風景が失われつつある。そこで、地域の事業者と地域住民等との連携・協働のもと、一次産業、二次産業、三次産業の融合を図り、これら農地を活用した地産地消や地域の賑わいづくり、魅力づくり、環境づくりを進め、耕作放棄地の増加の抑制によるふるさとの風景の維持保全を図るとともに、地域の環境と経済の循環による自立した持続性のある地域の環境づくりの仕組みを構築することを目標に取り組みを広げていく。	ふるさとの風景を守るため、耕作放棄地を活用した都市住民の農業体験の試行、コミュニティビジネスの研修等を行い、都市住民との交流人口増加を目指す。昨年度の都市住民との交流の試行等の成果を踏まえ、コミュニティ・ビジネスの起業及び新たな事業実施団体の立ち上げにより活動資金調達を構築するとともに、都市農村交流・農業体験を通じて農地維持や地域管理の担い手となる新たな人材を確保し、資金と担い手の両面から地域活動の持続性を高める。
(財)兵庫丹波の森協会 NPO法人 たんぱぐみ (株)プロビスささやま丸山自治会	ふるさと原風景再生マネジメント事業	兵庫県篠山市	今日まで継承されてきた伝統的な集落環境を篠山市の農村の原風景として位置づけ、地域住民の参画と協働に基づくふるさと景観資源の発掘と修整整備を通して、谷川流域独自のふるさと景観形成を推進する。同時に景観を維持する営みや継承されてきた地球にやさしいライフスタイル、食文化を地域ブランドとして育み、情報発信し、都市住民の自然や本物志向、スローライフ等の体験志向に対応したツーリズムとして積極的に都市住民を受け入れ、空き家の古民家を再利用して都市住民との交流や一時滞在施設として農家民泊の計画づくりを行う。	-----

<p>特定非営利活動法人 いくのライブミュージアム</p>	<p>「鉱石の道」産業遺産エコ・パーク地域マネジメントプロジェクト</p>	<p>兵庫県朝来市</p>	<p>生野鉱山の産業遺産を活用した欧州型のエコミュージアム(「領域＝地域」ととらえたオープンエアミュージアム)の形成を図り、生野鉱山の産業遺構、鉱山によって形成された町並み、古民家、まちの記憶、住民等の連携を通して、地域の誇りや鉱山町の生活文化等を守り伝え、開坑以来1200年続いた鉱山町特有の地域アイデンティティの継承を担うものとする。そのなかで、生野町の地域力(人・組織・ネットワーク等)を集結・強化し、「参画型まちづくり方式」による地域マネジメント運営体制を構築し、住民・行政・企業等の連携・協働による持続可能な観光まちづくり事業の推進を目指す。</p>	<p>昨年度構築された生野地域の地域マネジメント体制により、今年度は、生野鉱山の歴史文化や産業遺産を地域資源に、古民家の活用と生野鉱山ゆかりのコミュニティビジネスの社会実験に取り組み、産業遺産を活かした体験型観光をきっかけとした住民参画型まちづくりを進める。</p>
<p>奥銀谷地域自治協議会</p>	<p>地域住民、元住民、都市住民等の協働による「奥銀谷お宝マップ」づくりと活性化プログラムの作成</p>	<p>兵庫県朝来市</p>	<p>-----</p>	<p>人口減少、高齢化が進む地域において、外部からの参加者を地域づくりの担い手として巻き込むことを目的として、都市住民の深い関与を得ながら地域住民が地域資源マップを作成する活動を行う。こういった地域での活動への参加のプロセスを通して都市住民が地域のファンとなるための工夫の仕方について検討する。</p>
<p>西播磨生き生き街道活性化協議会</p>	<p>西播磨の自然を活かした集落活性化モデル事業</p>	<p>兵庫県宍粟市、佐用町</p>	<p>-----</p>	<p>過疎化が進む中山間地域において、自然や文化などの地域資源を活かしながら、これまで取り組んできた地域と都市部のリアルな交流と地域SNSやインターネットテレビなどのICTツールを活用したバーチャルな交流とを織り交ぜた交流事業を進展させ、一過性の交流から持続的な交流とするために、地域内の若年層が主体となった交流事業等を通じた地域内人材育成と情報発信活動、地域内の小ロットの生産物のインターネット販売等に取り組む。</p>
<p>江川地域づくり協議会</p>	<p>ことおこし・人おこし・物おこしによる江川の里づくり事業</p>	<p>兵庫県佐用町</p>	<p>-----</p>	<p>高齢化が進む地域の暮らしを支えるため、かつては集落で互助的活動として行ってきた葬式手伝いなどのサポート事業や高齢者見守りのためのサロン開設事業、地域内の移動サポートのためのデマンドバスの運行に取り組む。また、昔の街道筋として今も数多く残る歴史的な資産や貴重な動植物などの自然を活用し、都市部との交流事業にも取り組む。</p>
<p>国栖の里観光協会</p>	<p>ものづくりの里レポリューション事業</p>	<p>奈良県吉野町</p>	<p>国栖地区は、1300年の歴史をもつ手漉き和紙をはじめ、昔から製箸・木工などの家内制手工業が盛んに行われてきた。しかしながら、割箸や和紙の需要の減少などにより、地元主産業が衰退し後継者もほとんどいない状況である。住民も最盛期から大幅に減少し、空き家も増加し地域のコミュニティも崩壊しつつあり、地域の存続も危機的な状況にある。そこで、地域の伝統的な特色である「ものづくり」と、自然や歴史的な遺産といった地域の資源を再生し、地区に新しい観光産業を立ち上げる。またものづくり体験やホームページで、都市の人々との交流を深め国栖地域のサポーターとして地域づくりへの参加を求める。この事業の実施をとおして、地域の人々に誇りを取り戻し地域への愛着を深め、伝統文化を守り伝えていく心を育てる。また、地域の組織や団体と協力し地域を創造する新しい担い手を確立する。</p>	<p>昨年度整備したウォーキングコースの活用や滞在型の「ものづくり」体験プログラムの実施により都市との交流をさらにすすめるとともに、地域の伝統文化や民話等を整理して情報発信し、地域住民の誇りを取り戻し地域コミュニティの再建を図るとともに、地域づくりのサポーター、担い手を育てる。</p>

<p>特定非営利活動法人 メディアネット宇陀</p>	<p>メディアを通じた中山間地域の 出会い・交流創出プロジェ クト</p>	<p>奈良県宇陀市</p>	<p>宇陀市は奈良県の中山間地域であり、平成18年1月1日に合併によって誕生した。市内には、歴史資源のほか、高原の豊かな自然を土壌とした伝統と特色ある農林畜産資源を有しているが、それぞれの資源や取り組みが個別バラバラであり、互いの連携協力による効果の高いPRが行えておらず、都市部からの交流人口を呼び込めていない現状にある。行政・民間ともに地域資源に関する情報発信力が弱く、来訪者のニーズに応じた戦略的な連携体制も構築できていないため、知られざる宇陀各地の人と資源、そしてその魅力を地域メディア(ケーブルテレビやインターネット)を通じて発信するとともに、地域のシーズと来訪者のニーズを結びつけ、新たな出会い・交流の創出を図る。</p>	<p>来訪者のニーズに応じた地域の人と資源に関する情報を様々な地域メディアを通じて発信することで交流人口の増加を図るとともに、地域住民に身近なまちの魅力を再発見してもらい、地域コミュニティの創生を図る。昨年度は発信の仕組みを構築したことを踏まえ、今年度は情報を発信する人材の育成及び都市住民の受入れ体制・環境整備を検討することを目的としたコンテンツの整備等を実施する。</p>
<p>紀伊万葉ネットワーク</p>	<p>「文化伝統等地域資源を活用した持続可能な地域の形成」 -万葉の文化と風土に親しみ、ふるさとおこしに活かす紀伊万葉顕彰事業-</p>	<p>和歌山県かつらぎ町</p>	<p>自然環境や歴史的遺産を保護・保全し次世代に継承するためにも、先人の叡智に学び、老若男女が共通する価値観を持って希薄化する郷土意識を涵養し、地域の特性を活かした産業を創生・発信することが重要な課題となっている。紀伊万葉の現地に学び、郷土愛を育み、故郷への愛着心を深め、ふるさとおこしの「住民パワー」を誘発する顕彰事業を展開し、希薄化する郷土意識の涵養と定住できる産業の創生するとともに、日々の生活にある豊かな自然と歴史的文化遺産を全国に発信し、「人的・物的交流」と「文化交流」を進め、観光立県和歌山の一翼を担うふるさとおこしを行う。</p>	<p>紀北地域の万葉故地を対象に、若者等の紀伊万葉の文化・風土に関する現地学習会を開催し、希薄化する郷土意識を涵養するとともに、世業としてきた地域の農業や産業の調査・見直しを行い、地域の資源を活かした定住できる生業を創出し、「文化と生活」の融合した地域コミュニティの再生を図る。</p>
<p>色川百姓養成塾</p>	<p>むらを学ぶ「むらの教科書づくり」事業(H20) 「わがらで地域づくり」プログラム(H21)</p>	<p>和歌山県那智勝浦町</p>	<p>いわゆる「限界集落」においては、地域住民自身が、むらと自らの人生との価値を再発見し、誇りをしっかりと持ち直し、むらを次世代に継いでいこうと立ち上げることにこそ、地域を守る可能性が残されているが、地域住民の高齢化は着実に進んでおり、日本人の原点ともいべき場所や、そこでの何気ない暮らしは途絶えてしまうと考えられる。このため、大学生による総合的な現地調査を行い、成果物として「むらの教科書」を作成する。若い学生がむらに入り、むらで昔から営まれ受け継がれてきた暮らしに関心を抱き、お年寄りの声に真剣に耳を傾けて記録を残すことをきっかけに、むらのもつ価値が社会的に広く正当に評価され、むらが誇りと活力をとりもどし、本当の意味でむらが守られていく機運を生み出すことを目指す。</p>	<p>学生・集落支援員等の若者の力を活用した住民主体の地域づくり拠点設置にむけた活動。外部の若者を巻き込み地域づくりの人材として育成するとともに住民の自治意識を高めることを目指す。集落支援員を核に、集落調査を実施する学生と住民との連携を図り、拠点設置のための組織づくりに着手。より普遍的持続的なしくみ作りにもけた近隣他地区との地区間連携も検討する。</p>

# 「『新たな公』（地域づくりの担い手）大集合：活動報告会」の開催のお知らせ

国土交通省では、地域活性化や国土管理における課題に対応するため、「『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業」を実施し、高齢化等によりコミュニティ機能が低下している集落等において、住民やNPO等の多様な主体が協働した「新たな公」による地域づくりを支援しています。（「新たな公」の概念については、次のホームページを参照。<http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/aratana-kou/index.html>）

今回、平成20年度及び21年度の活動について、近畿ブロックで同事業に参加する活動団体が集い、相互に活動内容を発表し意見交換する活動報告会を開催します。

また、「『新たな公』・『地域経営』推進事業審査委員会」（委員長 中京大学奥野教授）の有識者も参加し共に意見交換を行います。

日時 **平成22年1月19日（火）**  
**14:30～17:45（13:45開場）**

場所 **大阪合同庁舎1号館  
近畿地方整備局  
第1別館2F 大会議室**

〒540-8535  
大阪市中央区大手前1-5-44  
TEL:06-6942-1056



主催 **国土交通省 近畿地方整備局 建政部**  
**国土交通省 国土計画局**

## <その他>

- ◆報告会への参加には1月14日（木）までに下記申し込み先まで、FAX又は電子メールで代表者氏名及び同行される方の人数について連絡頂きお申し込みください。
- ◆公共交通機関をご利用ください。（地下鉄谷町線：天満橋駅 3号出口より徒歩5分）

## <報告会の問い合わせ先>

国土交通省 近畿地方整備局 建政部 計画管理課  
釜矢・一瀬 TEL:06-6942-1056

## <申し込み先>

ジオスケープ：平山 FAX:03-3588-5991  
E-mail:geo@geoscape.co.jp

FAX用：申し込み用紙

代表者氏名：

同行者人数：

人